

丸の内 de 夏の大学トーク

講演会

大学と社会が拓く未来の知 第5回

玉川
堤の花
京都の百景

歌川広重の声を聴く 風景への眼差しと現代の都市

風景は、成熟し安定した社会が変動期に入るとき、大きく変化し、風景・景観をめぐる関心も高まります。江戸後期、社会の成熟と開国（グローバリゼーション）への胎動という、現代にも通じる時代に、北斎や広重といった風景画家が活躍したのは偶然ではありません。中でも、歌川広重は、絵だけでなく自身の文章を付した画集を残し、そこからはいわば「声」として残された広重の風景観が読み取れます。

その声に耳を傾けることで明らかになったのは、広重が愛でたのは、実は、「広野」と呼ばれる、郊外の原っぱや耕地だったという事実です。いわゆる名所旧跡や盛り場ではない、日常の中にあるなにげない風景に、なぜ広重はこだわったのか？ 2020年のオリンピックを軸に促進される都市再開発、一方では、東日本大震災で荒廃した地域の復興——社会の在り方、都市の在り方をめぐる激動の時代に、「風景」とは何か、広重の残した声に耳を傾けて考えてみたいと思います。

演題

講演1：歌川広重の声を聴く——その風景観を考え、思いと願いを掬い取る

阿部美香（専修大学文学部助教）

講演2：歴史都市における風景の発見・保全・創造

——都市政策の対象としての京都の風景

中嶋節子（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

コメント：テリトリオの思想——都市・郊外景観の社会・文化・生態的意味を考える

陣内秀信（法政大学特任教授）

討論：都市景観・暮らしの風景を江戸から考える

日時：2018年7月27日(金)18時30分～20時30分(18時受付開始)

会場：京都アカデミアフォーラム in 丸の内（東京駅前・新丸ビル10階）

対象：100名（要事前申込。申込多数の場合は抽選とさせていただきます。）

主催：京都大学、京都大学学術出版会

後援：読売新聞社・活字文化推進会議





大学と社会が拓く未来の知について

日本のフィールド科学の祖とされる今西錦司博士が『生物の世界』を著して、すべての生物に社会があると宣言したのは、1941年、39歳のことでした。当時、ヒトとヒト以外を同列に扱うことは欧米の学界から強い批判を浴びました。しかし人文科学と自然科学との垣根を取り払い、人間中心の世界観を覆した日本の学術は、今や、様々な分野で世界をリードしています。地球規模、あるいは生命史・人類史の長さを見据えて解決すべき問題に私たちが直面する今日、若き日の今西錦司が挑戦したように、今、京都大学の研究者は、未来を拓くための様々な研究に勤しんでいます。週末の一時、こうした研究者を囲んで、歴史と未来を大いに語ってみませんか。



阿部美香 ◆あべ みか

専修大学文学部助教 京都大学博士（人間・環境学）

1981年ミラノ市生まれ。札幌市育ち。

京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士課程修了後、英国レスター大学研究員、同志社大学・京都三大学教養教育研究・推進機構 非常勤講師を経て、2017年より現職。専門は、歴史地理学・文化地理学・風景論。主著に、『歌川広重の声を聞く—風景への眼差しと願いー』（京都大学学術出版会）、『近現代の空間を読み解く』（共著翻訳書 古今書院）などがある。



中嶋節子 ◆なかじま せつこ

京都大学大学院人間・環境学研究科・教授

1969年滋賀県生まれ。京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。京都大学博士（工学）。

専門は都市史・建築史。近代における都市と景観をめぐる事象が主な研究テーマ。主著に、「近代日本の歴史都市」（共著、思文閣出版）、「近代とは何か」（共著、東京大学出版会）、「東山／京都風景論」（共著、昭和堂）、「近代日本の郊外住宅地」（共著、鹿島出版会）ほか。



陣内秀信 ◆じんない ひでのぶ

法政大学特任教授

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了

イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学。専門はイタリア建築史・都市史。建築史学会・地中海学会・都市史学会の会長を歴任。中央区郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長他。

著書：『東京の空間人類学』（筑摩書房、サントリー学芸賞）、『ヴェネツィア・水上の迷宮都市』（講談社）、『水の都市 江戸・東京』（編著、講談社、2013年）、『イタリア都市の空間人類学』（弦書房）他。

受賞歴：サントリー学芸賞、地中海学会賞、建築学会賞、ローマ大学名誉学士号他

申し込み方法

事前申し込みが必要です。メールまたは往復はがきで京都大学学術出版会 シンポジウム掛までお申

し込みください。その際、

・講演会参加希望 ・氏名・年齢・職業・住所、郵便番号・電話番号・メールアドレス

をお知らせください。お申し込みが多数の場合、抽選を行います。原則として7月20日(金)までに、ご登録いただいたメールアドレスに抽選結果をお送りいたします。7月20日を過ぎてもメールが届かない場合は、誠にお手数ですが、事務局までご連絡下さい。

〒606-8315

京都市左京区吉田近衛町69番地 京都大学吉田南構内
京都大学学術出版会 シンポジウム掛

TEL: 075-761-6182

Email: sympo@kyoto-up.or.jp